

沖縄県社保協ニュース



沖縄県社会保障推進協議会
会長 新垣安男 事務局長 高崎大史
那覇市古波蔵 4-10-53 健康企画ビル 3階
沖縄民医連内 098-833-3397 Mail:okisyaho@gmail.com

20221223
23期 No19
《部内資料》

12月19日八重瀬町キャラバン速報

(詳細は報告書参照)

○今年から公営住宅保証人廃止

12月23日豊見城市キャラバン速報

- 加齢性難聴補聴器助成⇒前向きに検討したい
- 学校給食費無償化⇒段階的に無償化
- 18歳医療費無料化⇒前向きに検討
- 生保ポスター⇒作成した(裏面参照)
- 障がい者控除の認定改善⇒県内事例も紹介してもらったので前向きに検討したい

大城副会長と徳元市長冒頭あいさつで開始

国保では国への要請は行うとしながら、国の制度の枠内の回答に終始しました
無低の薬剤補助では「議会決議は尊重するが、これから検討で白紙」との回答で、継続した要請が必要になってきます。

子育て支援では「学校給食無償化を段階的に進める」「18歳までの医療費無料化も前向きに検討」「市長賛同アピールも」「待機児童解消は4施設開園などで進める」

介護では、「広域連合と協議」が大半でしたが、要介護12の保険外しについては懸念材料を共有できました。要介護45の方への「特別障害者手当」案内は窓口で周知案内。要介護の方への障がい者控除の認定については「本日の情報をもとに前向きに検討」したいとのこと

生活保護では、14日以内の決定が11市でトップに躍進。生活保護ポスターも作成して掲示しています(県内2例目)公営住宅保証人も今年度から廃止しています

高齢者支援では、加齢性難聴補聴器助成制度について「前向きに検討」へ

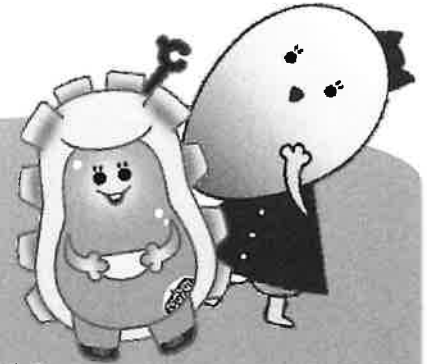
せい かつ ほ ご

生活保護

を ごぞんじですか？

せい かつ ほ ご

生活保護 とは…



「^{びょうき}病気や^{はたら}ケガなどにより働けなくなった」
「^{かてい}家庭の問題で^{せいかつ}生活が^{くる}苦しくなった」など、
そのような時、^{とき}国が^{くに}憲法25条に^{けんぽう}規定する^{じょう}理念にも^{きてい}とづき、
^{こま}困っている^{ていど}程度に応じて^{おつ}最低限度の^{せい}生活を^{りねん}保障しながら、
^{じぶん}自分の^{ちから}力で^{せいかつ}生活できる^{よう}よう
^{しえん}支援する^{せいど}制度です。

せい かつ こま かた きがる そうだん

生活にお困りの方は お気軽にご相談ください。

とみぐすくしふくしじむしょ とみぐすくし しゃかいふくしか

豊見城市福祉事務所（豊見城市 社会福祉課）

☎ (098) 850-0141

★ ^{そうだん}ご相談の際は^{さい}事前に^{じぜん}連絡を^{れんらく}入れて^いおくとスムーズです。



くわしいことは
市役所2階12番窓口へ!!

自治体キャラバン 27自治体終了

残り2つ成功させましょう！

○1月中旬 沖縄市キャラバン

○開催要請中 うるま市キャラバン

☆うるま市キャラバンを成功させるための懇談会

1月7日(土)15時-16時

うるま市地域交流センター1階会議室

zoomでも参加できます。全県からの応援要請中

Meeting ID: 888 8856 1177 1177 1177 1177 1177 1177 1177 1177

改憲軍拡と社保解体許すまじ

歴史の分かれ道です

2023 大軍拡を止めて社会保障運動を構想する学習交流集会

1月20日(金)15時-

中央社保協事務局長の 特別講演決定！

講師 林 信悟氏

テーマ(仮)国会情勢とこれからの社保運動

～軍拡より社会保障充実でいのちと暮らしを守ろう～

産業支援センター会議室とオンライン併用で実施します

11月1日	国頭村・大宜味村
11月2日	今帰仁村
11月4日	東村
11月7日	県庁
11月8日	本部町
11月9日	宜野座村
11月10日	金武町・恩納村
11月11日	読谷村
11月14日	西原町
11月15日	嘉手納町・北谷町
11月16日	宜野湾市
11月17日	北中城村・中城村
11月18日	浦添市
11月24日	南風原町・与那原町
11月25日	那覇市・名護市
11月29日	糸満市
11月30日	八重瀬町・南城市
12月1日	石垣市・宮古島市
12月19日	八重瀬町
12月23日	豊見城市
1月中旬	沖縄市
開催未定	うるま市

☆2月初の離島キャラバン実施へ

今回の離島キャラバンはいつもとは違う方法で実施します

①要請書も回答書もなしで懇談します

②基調報告を社保協側が行い、質疑応答ですすめます

③自治体側の参加者に合わせて(例えば国保の担当者が出てくれば民商に応援をお願いする)

加盟団体に補足説明や質問回答の応援をお願いします

④特に目標をもった要請は行いませんが、オブザーバー参加は自由です。

⑤現時点での日程確定状況は以下の通りです。もし日程あえばご参加ください

2022年度 自治体キャラバン（要請と懇談）報告書

市町村名： 八重瀬町

日 時：2022年12月19日14：00～16：00

場 所：オンライン

参加者人数	沖縄県社保協側	市町村側
	9人	●人
団体別参加者の名前	高崎（司会）・塩塚（民医連）、神谷（終わりの挨拶）・西仲間（民商）、照屋（沖協）、里道（新婦人）、川上（かりゆしの里）、照屋（生健会）、宮城（年金者組合）	冒頭あいさつ：大嶺（民生部長）、ナカザ（健康保険課）
懇談の特徴点	①国保・医療	<ul style="list-style-type: none"> ・照屋（沖協）から無低診事例報告 ・国のコロナ減免制度の基準拡大等について町単独で対応することは財政的に厳しい。町独自の減免制度も案内するが、国の基準を満たさない方が必ずしも該当する訳ではない。 ・未就学児の均等割り軽減（1/2）は町でも実施している。 ・国保決算黒字理由は一般会計繰入れしているため（保険料引き下げは厳しい）。 ・傷病手当について国の補助要項に基づいて実施しており、町単独では厳しい。 ・滞納差し押さえについて可能な限り窓口、電話相談で対応している。 ・マイナ作成は任意でお願いしている。健康保険紐づけについては窓口で説明している。 ・国保統一化反対要請について、上司と相談、検討しながら進めていく。
	②子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども医療費署名について出来る範囲で協力する。18歳まで無料化試算1246万円。現時点では18歳まで無料化は検討していない。 ・就学援助について要保護8名、準要保護753名が利用中。広報についてHP、町報、全児童生徒に通知を送付。 ・保育士確保について、R3年度から保育士就職奨励金（正規で20万円）開始して増加。町に匿名で虐待疑いの連絡があり、園長を指導し虐待防止の研修を実施。各園独自に30対1⇒20対1にしたりして保育士の負担軽減を図っている。
	③介護	<ul style="list-style-type: none"> ・町内各字で地域介護予防事業ミニデイサービス集いの場を実施。要介護1.2でも生活支援を必要とする人がいて専門職員が不足するため総合事業移行には反対。 ・介護人材育成で入門研修（22.5H）を3年前から実施し、修了者のマッチング事業も行っている。初任者研修が免除（21H分）される。事業所は町内に限らない。 ・事業所へのコロナ支援策について、R2は国の予算で実施したがR3以降は財源が無いため未実施。経営困難の声は届いていない。
	④障がい者支援	<ul style="list-style-type: none"> ・65歳問題について利用者のニーズに応じて担当者が柔軟に対応している。 ・高齢障がい者の負担軽減措置について実施している。
	⑤文化的生活保障	<ul style="list-style-type: none"> ・14日以内の決定について福祉事務所と相談して対応していく。 ・制度周知のポスター作成について福祉事務所と相談して検討する。しおりは町民ホールに設置。
	⑥年金、高齢者	<ul style="list-style-type: none"> ・補聴器助成について現時点では検討していないが、今後検討する。 ・今年度から中核機関設置について、人材確保が厳しいが、検討していく。 ・公共交通事業導入は多額の経費がかかるため、交通弱者を対象を絞って、ボランティアを募ってお出かけサポート事業を実施予定。また南部徳洲会病院と共同でバス運行している。町はバス1台と燃料費を提供（運転手は病院スタッフ）。運行バス1台⇒2台に増。財政支援は県の一括交付金事業を活用している（実証実験のみ）。終了後は町負担になるので、継続